

第34回 港南区社会福祉大会

平成27年2月28日 ウィング横浜

福祉功労者の表彰と、地域活動発表、講演が行われました。

第一部 表彰式典

長年、福祉活動やボランティア活動に携わってきた福祉功労者(36名)、福祉保健活動団体(1団体)が表彰されました。

表彰式典の様子



会場内展示の様子



港南区協
マスコットキャラクター
はむたん

第二部 地域活動発表・講演



地域訓練会 なすな会

昭和50年に区内で初めての地域訓練会として発足。主に知的障害のある子どもたちの習字やプール、音楽療法などの活動の場であるとともに、家族に障害者がいる先輩が後輩の子育てや活動を助けながら、親自身が社会や地域の中で子を育てる力を身につける場となっています。

もし周りに困っている親子がいらっしゃったら、ぜひ話を聞いて背中を押して、訓練会があることを教えてあげてください。

ひざり地区社会福祉協議会 ひざり助け合い ネットワーク

平成9年に区内で初めての地区社会福祉協議会福祉ネットワーク(身近な地域でのボランティア活動・相談)として発足しました。ちょっとした助けを必要としている高齢者や障害児・者、子育て世帯へ、住民同士による助け合い活動を実践しています。

成果は約16年間で延べ4,566回活動。利用する人もボランティアもお互いが感謝の気持ちでつながり、地域の大きな力になっています。



講師



室田 信一氏
首都大学東京都市教養学部
准教授

近年の雇用不安・家族形態の変化などから生きづらさを抱えた人々が増えています。また、人に何かをお願いすることにに対し極端に気を使う傾向や、ひとりを望む人が多くなっているとも言われています。これからのご近所同士のつながりは、意図的につながりづくりのきっかけをつくらないと成り立ちにくい(つながりづくりの社会化)、そんな時代になっています。

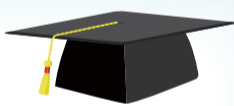
地域で活動する人物・グループ紹介 3

地域には様々な形、動機で活動している人たちがいます。

連載コラム

こうなん
この人に聞きました

男のセカンドライフ大学校 企画委員会



活動の様子

港南区役所・港南区社会福祉協議会・地域ケアプラザの共催で開催した男のセカンドライフ大学校「エンジョイ!! セカンドライフ」に参加したことをきっかけに、「せっかく集まったのだからこのままではもったいない!何かしよう」と集まった男性だけのグループです。

すでに自治会活動や民生委員児童委員、防災などの活動されている方もいらっしゃいますが、講座参加後に防災ライセンスリーダーになったり、ボランティアに参加したりと個々に活動されている方もいます。グループとしては、自分たちの健康も兼ねて「自分たちの街、港南区を知ろう」と区内をみんなでウォーキングしています。

また、皆さんの今までの経験を活かし、元航空整備士さんは「飛行機を直せるなら家電なんて簡単に直せちゃうよ。」、元IT関係の方は「私、ホームページ、メーリングリストを作ります。得意なんです。」など、それぞれが自身の特技、やりたいことを無理せず、地域のため、自分たちのために活動しています。

今後は楽しくウォーキングをしながら、平成27年度の男のセカンドライフ大学校の新たなメンバーを募集するため、企画を練り、港南区社会福祉協議会と一緒に大学校の運営を行っていく予定です。



スポーツクラブ ルネサンスにて体力測定と日頃できる体操を教えてもらいました。【講座2日目】



防災ライセンスリーダーの実技講座の様子。これをきっかけにライセンスリーダーとなった方がいます。【講座4日目】



園児たちの笑顔に
おじさま達の顔もゆるみっぱなし!
サンマを焼いて、一緒に食べたお礼に保育園児からハイタッチ!!【講座5日目】



今後の活動について真剣に話し合い
そして、すぐに実行⇒ウォーキングへ



ウォーキングの様子。鎌倉古道から久良岐公園へ(近所に住むメンバーがガイド役)